

シングル分岐 NSJ-SSH8 の取り付け方

※取り付ける前に、必ず裏面の『施工・使用に関する安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しく取付・使用を行ってください。



- 凍結の恐れのある所への設置はお避けください。
- 水漏れの恐れがあります。
- 給水圧力0.6MPa(6kgf/cm²)以上ある場合は市販減圧弁にて0.2MPa(2kgf/cm²)程度に減圧してください。

代表機種

TKGG31EC・TKGG31E
TKGG33EC・TKGG33E

— 分岐水栓に関するお問い合わせは —

サポートセンター 電話 大阪 06(6974)7033
E-Mail support@naniwa-ss.co.jp●水栓メーカーへのお問い合わせはご遠慮ください。
お問い合わせは上記サポートセンターまでご連絡ください。

製造元 株式会社ナニワ製作所

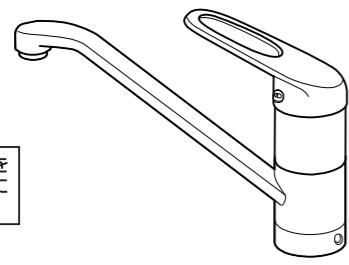
〒537-0002
大阪市東成区深江南2丁目5番4号
電話 大阪 06(6974)7100

●記載しているイラスト(水栓)は、代表機種であり他の機種とは多少、外観と分解が異なる場合がありますので十分注意して取り付けを行ってください。

●分岐水栓の取り付けには次の工具が必要となります。事前にご準備ください。

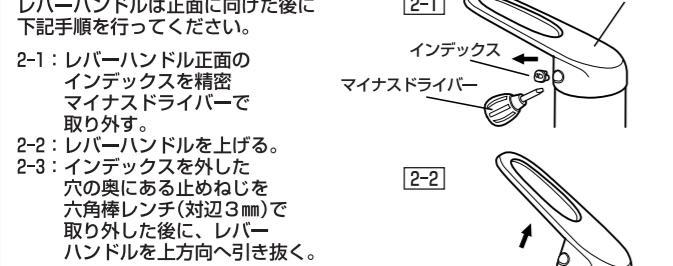
モンキーレンチ 精密マイナス
ドライバー 六角レンチ
(対辺3mm)

1. まず、止水栓または元栓を閉める。



! 水栓から水が出ない事を確認してから次の手順にしたがってください。

2. レバーハンドルを取り外す。



レバーハンドルは正面に向かって後に下記手順を行ってください。

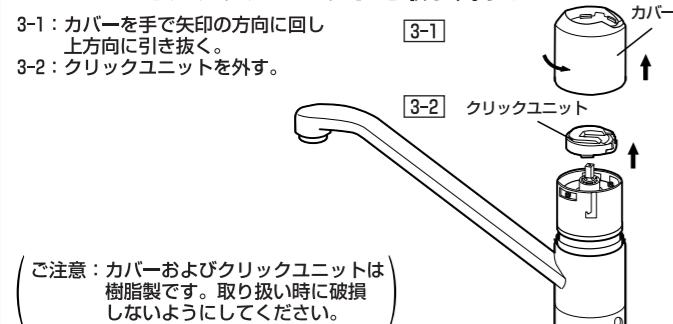
2-1: レバーハンドル正面のインデックスを精密マイナスドライバーで取り外す。

2-2: レバーハンドルを上げる。

2-3: インデックスを外した穴の奥にある止めねじを六角棒レンチ(対辺3mm)で取り外した後に、レバーハンドルを上方向へ引き抜く。

! 取り外した止めねじとインデックスは紛失しないでください。

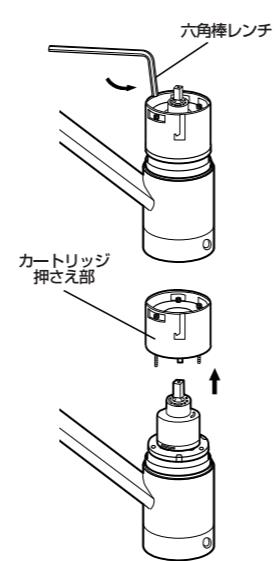
3. カバーとクリックユニットを取り外す。



! カバーおよびクリックユニットは樹脂製です。取り扱い時に破損しないようにしてください。

4. カートリッジ押さえ部を取り外す。

同梱の六角棒レンチ(対辺2.5mm)で3本のねじをゆるめカートリッジ押さえ部を上向きに取り外す。



ご注意: カートリッジ押さえ部は樹脂製です。取り扱い時に破損しないようにしてください。

ご注意: カートリッジ押さえ部を取り外すと同時にカートリッジも水栓金具より外れることがあります。落下などによる破損にはご注意ください。

ご注意: 取り外した3本のねじはお客様で保管ください。分岐水栓を取り外し時には必要になります。

5. カートリッジを取り外す。

カートリッジを取り除く。水栓金具のシート面にパッキンが残っている場合は取外して頂きカートリッジの下部に取り付けてください。



ご注意: カートリッジは樹脂製の精密部品です。破損・落下はしないようにしてください。

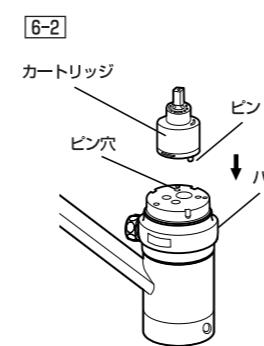
6. シングル分岐水栓とカートリッジを取り付ける。

6-1: シングル分岐の本体上下を手で挟み、もう片手でシングル分岐のハブを持ち、ハブを回して分岐取り外し方向(分岐水栓ピン穴が奥側になります)を決める。



お知らせ: ハブが回らないときは分岐水栓の本体を上(パッキン)方向に少し押し出した後に、本体を再度押し入れて頂くと回りやすくなります。

6-2: 分岐水栓の下部にあるピンを水栓金具のピン穴にあわせてのせ、カートリッジを分岐水栓の上にピンをあわせながらのせる。

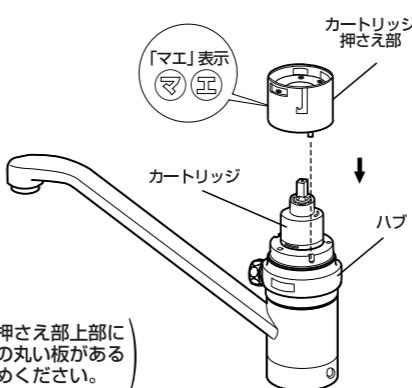


ご注意: 分岐水栓の下部にパッキンがあるかをお確かめください。

ご注意: 分岐水栓・カートリッジのピンはきっちりと合わせてください。合わずに取り付けた場合、破損し使用ができなくなります。

7. カートリッジ押さえ部を取り付ける。

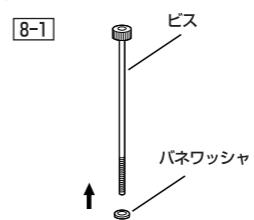
カートリッジ押さえ部の側面に「マエ」表示があります。「マエ」表示を前方にしながらカートリッジ押さえ部の凸部と分岐水栓の凹部を合わせながら、カートリッジにかぶせてください。



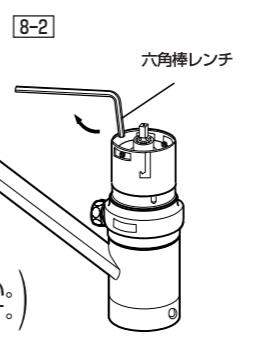
ご確認: カートリッジ押さえ部上部にステンレス製の丸い板があることをお確かめください。

8. 3本のねじを締め付ける。

8-1: 同梱のビスにバネワッシャを挿入する。



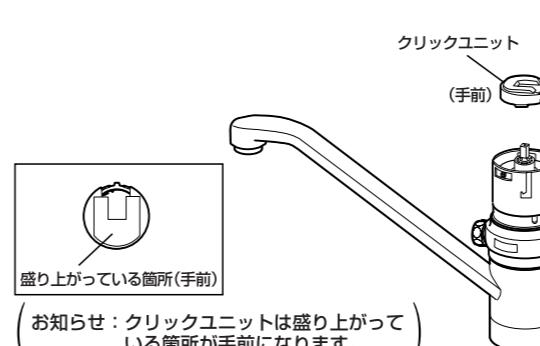
8-2: 分岐水栓に同梱している3本のねじをカートリッジ押さえ部の穴に挿入し、カートリッジ押さえ部を下側に抑えながら同梱の六角棒レンチ(対辺2.5mm)でしっかりと締め付ける。



ご注意: 1本づつ締め付けないでください。ねじが締め付けできなくなります。

9. クリックユニットを取り付ける。

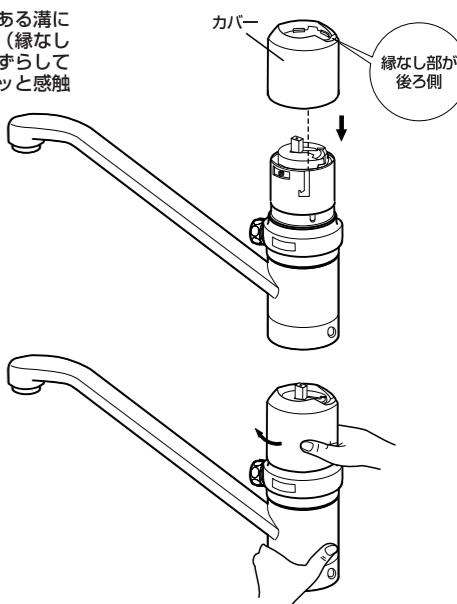
クリックユニットの裏側にある凸部(3箇所)とカートリッジの凹部(3箇所)を合わせて挿入する。



お知らせ: クリックユニットは盛り上がっており箇所が手前になります。

10. カバーを取り付ける。

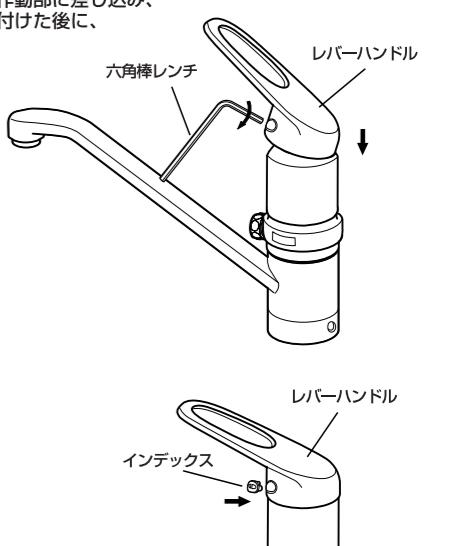
カートリッジ押さえ部の側面にある溝に合わせるように、カバーの正面(縁なし部を後ろ側にして)を少し右にずらして挿入し、時計回りの方向にカチッと感触があるまでまわして固定する。



カバー 縁なし部が後ろ側

11. レバーハンドルを取り付ける。

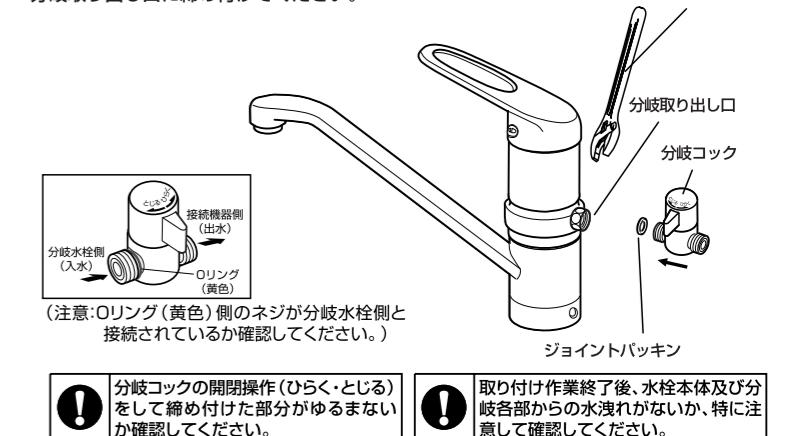
レバーハンドルをカートリッジ作動部に差し込み、手順2で取り外したねじを締め付けた後に、インデックスを取り付ける。



六角棒レンチ レバーハンドル

12. 分岐コックを取り付ける。

モンキーレンチなどで分岐コックを分岐取り出しがに締め付けてください。



モニキーレンチ 分岐取り出しが 分岐コック

ジョイントパッキン 分岐水栓側(入水) 接続機器側(出水) Oリング(黄色)

(注意: Oリング(黄色)側のねじが分岐水栓側と接続されているか確認してください。)

! 分岐コックの開閉操作(ひらく・とじる)をして締め付けた部分がゆるまないか確認してください。

! 取り付け作業終了後、水栓本体及び分岐各部からの水洩れがないか、特に注意して確認してください。

施工・使用に関する安全上のご注意

- 施工する前に、この「施工・使用に関する安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。
- ここに示した **△注意** は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に動作するかを確認の上、使用方法をお客様に説明してください。
- この説明書は、お客様へ保管していただくように依頼してください。
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない禁止の表示です
	行為を強制する表示です
	分解してはいけない表示です

本品に関するお知らせ
本品はご購入時より1年間のみの保証となります。 1年以内に本品の不具合が発生した場合、無償にて部品の発送交換を致します。購入時の領収書と明細書は必ず保管ください。 紛失された際には保証しかねる場合がございます。 ご注意：水栓金具・機器等の不具合に関しては弊社では保証しかねます。

△ 注意	
	●凍結の恐れのある所への設置はお避けください。 ※水漏れの恐れがあります。
	●本製品取り付け完了後、水栓本体と分岐水栓との間、分岐コック接続箇所から水漏れが無いか良く確認してください。 ※家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。
	●分岐水栓および同梱されている分岐コックは絶対に改造・分解しないでください。 ※故障・破損・水漏れの恐れがあります。
	●止水栓またはバルブの開放は必ず分岐コックに給水ホースを接続した後、行ってください。
	●分岐水栓を取り付ける場合、必ず専用の工具等を使って取り付けてください。 ※専用の工具以外で、取り付けされると傷をつける場合があります。
	●浄水器・整水器等をご使用になる場合は、必ず分岐水栓を給水接続でご使用ください。 ※機器が故障する場合があります。
	●手などにケガ等をする恐れがあります。十分注意して取り付け作業を行ってください。
	●施工前後に止水栓またはバルブの開放状態のままで分岐水栓・水栓金具等の分解・取り外すような行為は行わないでください。※傷害・物損・故障・水漏れ等の恐れがあります。
	●水栓本体のカートリッジは落としたり、分解しないでください。 ※水漏れ・取り付けができなくなる恐れがあります。
	●水栓本体のカバーナット・カートリッジ押さえを取り外し、取り付けを行う時には、必ず水栓本体が回ったり、配管がねじれていなことを確認してください。※破損・水漏れの恐れがあります。
	●浄水器使用後は、必ず分岐コックをとじてください。
	●蛇口が変形しますので、蛇口の先端に無理な力を加えたり、器具等を取り付けたりしないでください。 ※故障・破損・水漏れの恐れがあります。
	●浄水器・アルカリイオン整水器をご利用の際には、機器の吐水口と排水ホース口は必ずシンク内に向けてください。 ※漏水し家財等に損害が生じる恐れがあります。
	●分岐コックは消耗品です。長時間または長期間の不在をされる場合、止水栓または元栓を閉めてください。 ※漏水し家財等に損害が生じる恐れがあります。※防火設備または自動で給水が必要とされる機器に直結している場合、元栓は閉じずに分岐水栓が取り付いている水栓金具のみが止水できる止水栓のみ閉じてください。
	●井戸水・工業用水または飲料に適しない水等に使用された場合、本品の破損・家財の損害が生じる恐れがあります。
	●お客様の配管設備等により本品を取り付けることで音鳴りが発生する場合があります。流量等を絞って調整頂くと改善する場合もありますが、改善しない場合もあります。
	●水栓金具に水垢または油脂等が固着し分解が困難な場合があります。水栓金具メーカーとご相談ください。 ※無理に分解しますと水栓金具の破損・水漏れの原因となります。

目頭のお手入れと点検

	●定期的に接続部や配管のまわり（ホース接続など）を点検し水漏れがないか確認してください。 ※接続箇所の緩みや部品の劣化消耗等による水漏れが発見できず、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
--	--